

# ふるさと探訪

[21]

福井県・高浜町で六月「式年大祭」が盛大に開催された。七年に一度催す同大祭で使用された山車の一

江戸末期の綾部の画家

## 長谷川素後の竜の絵

した綾部の画家、長谷川素后(そこう)の絵が描かれ

人物画に秀でた画家だった。

町図書館から綾部図書館に素后に関する問い合わせがあった。山車の天井に素后の署名が入った竜の絵があるの、作者について詳しく知りたいとのことだった。

泉さんから山車の天井画の話聞いた綾部史談会員の塩尻千賀良さん(61)は

「四」の字は、天保四年(一八三三)を意味する

ことが分かる。また竜の絵は、応挙の作品の中に良く似たものがあり、それを写したと考

### 応挙派の山口素絢に師事

素后は応挙派の山口素絢(けん)に師事し、動物や

家だったが、五十四歳のときに中風にかかり右手が不自由になってからは左手で

寺門前で暮らし、慶応元年(一八六五)に七十四歳で

亡くなった。

一瀬家に代々伝わる「略史」に素后とのかかわりが

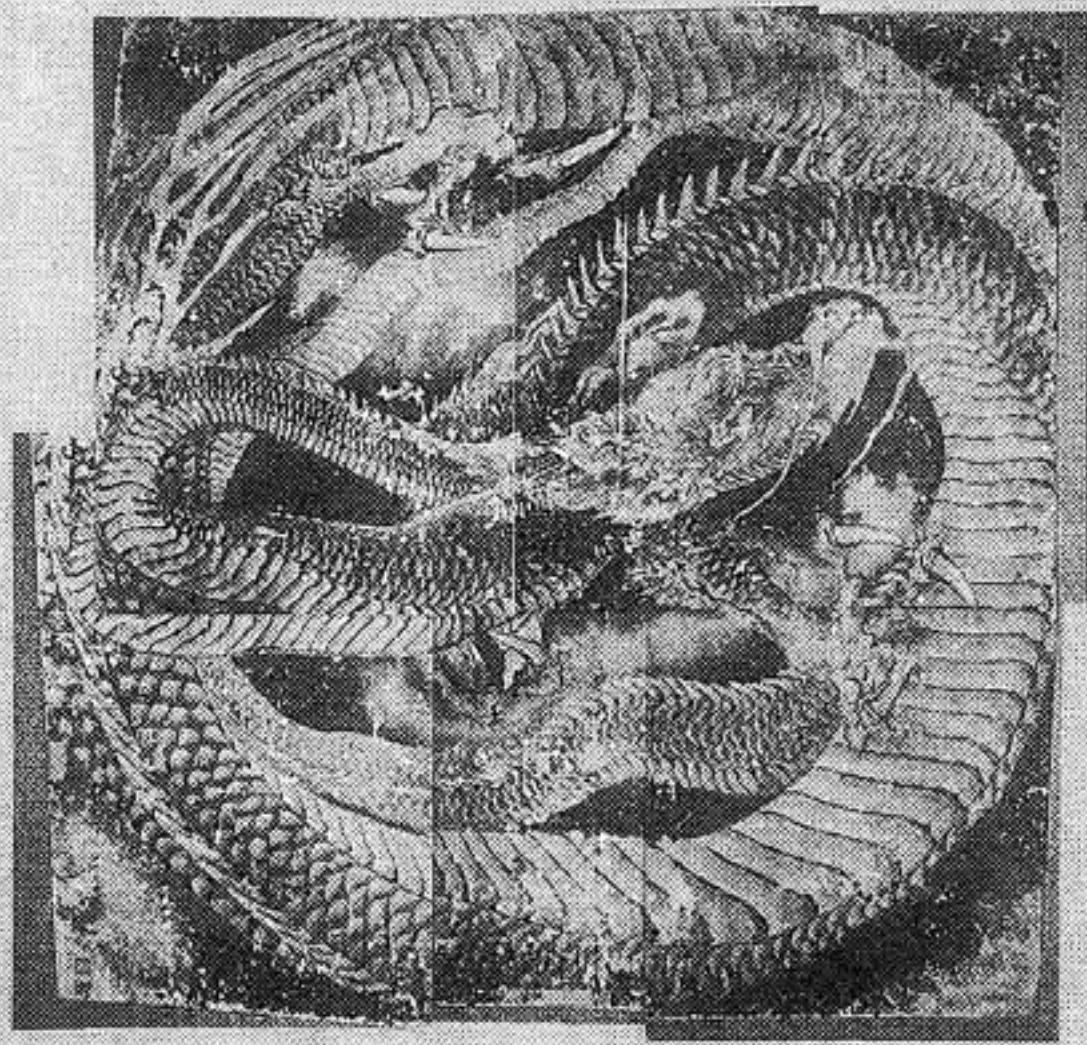
ていることが分かった。

前者の意味は、素后がだれかの絵を写し書きしたということ、

後者は制作時期を表している。

た絵や素后が九鬼綾部藩主から受けた鉢も保管されていた。

から受けた鉢も保管されていた。



素后が山車の天井に描いたという約2尺四方の竜の絵(写真は絵の部分写真を組み合わせた)

## 高浜の「山車」で見つかる

### 式年大祭に魅せられ制作か

た。高浜町の民家

早速、綾部図書館職員の新宮町は、式年大祭に足

歳のときの作品になる。

高浜には3女の

一瀬さん宅では素后の作

には、素后が綾部藩主だった九鬼家

泉修義さん(64)が館内の書物で調べた内容を先方に

余り前、浄光寺に建立してある素后の顕彰碑を目にし

たこともあり、関心が高

品を家宝として十蔵に保管している。山車の天井画も

から受けた鉢も残り、綾部の郷土史

よると、長谷川素后は寛政四年(一七九二)に、岡安

町の塩尻家の次男として生ま

れた。その後、東本町の長

谷川家の養子になった。

とのかかわりなどに興味を深めてい

る。

式年大祭前日の六月十六日、高浜

画風は超俗的で優れた画

伝統行事とともに素後の名も後世へ

式年大祭前日の六月十六日、高浜

画風は超俗的で優れた画

伝統行事とともに素後の名も後世へ

伝統行事とともに素後の名も後世へ

伝統行事とともに素後の名も後世へ

式年大祭前日の六月十六日、高浜

画風は超俗的で優れた画

伝統行事とともに素後の名も後世へ

伝統行事とともに素後の名も後世へ

伝統行事とともに素後の名も後世へ